

部局目標 [2020年度]

局名 長野放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民一人ひとりの「命と暮らしを守る」防災・減災報道に地域のハブとなって取り組み、あらゆるメディアを駆使してきめ細かい情報発信を徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ハード・ソフト両面で、防災・減災報道への準備・訓練 ◇いかなる災害が起きても放送・情報発信を継続する ◇県内自治体・ケーブルTV局・FM局との災害時の協力関係強化 ◇過去の災害を検証し、県内の防災・減災意識を高める ◇発災時は全局態勢でマルチ発信 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の課題に正面から向き合うとともに、信州の魅力を国内外に発信し、視聴者の皆さまの期待に応えます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇台風19号の被災地・被災者に寄り添った放送サービスの充実 ◇信州を元気にするため、地域の課題を発掘し解決の道筋を探る ◇信州の豊かな自然や文化を4K・8Kなど良質な映像で記録・発信 ◇ワンソースでローカル番組を全国・国際放送にマルチ展開 ◇信州のスポーツチーム・選手を応援 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解◇公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	視聴者の皆さまとのコミュニケーションをより深化させ、幅広い世代から親しまれ、信頼され、必要とされる、「地域の社会的基盤」となります。	<ul style="list-style-type: none"> ◇独自イベント・企画を通して、地域との交流の機会を増やす ◇ケーブルテレビ局との協力関係をより一層強化 ◇ネットやデータ放送のさらなる充実 ◇受信料の「公平負担」の徹底 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	既存業務の見直しをさらに進め、優先して取り組むべき課題に局一丸となって取り組みます。働き方改革の一層の推進とコンプライアンスの徹底に、不退転の決意で取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇既存業務の必要性を再検証し、業務の効率化・高度化を推進 ◇研修や勉強会を適宜行い、働き方やコンプライアンスの意識改革を徹底 ◇意思決定をスピーディーにして、現場主導で業務を遂行 	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	新潟放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災・減災や地域の課題解決につながる情報を発信し、新潟県民の命とくらしを守ります。	◇災害時のローカルファーストを徹底し、きめ細かい情報発信で県民の期待に応える。 ◇災害対策ハンドブックを更新して職員への周知徹底をはかるとともに、初動訓練等を定期的実施する。 ◇柏崎刈羽原発の再稼働問題や自治体の財政危機など、地域の課題と向き合う取材・番組制作を行う。 ◇610やゆうどきラジオなどで防災・減災情報を積極的に発信する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	県域放送の一層の定着をはかり、新たな企画開発で地域の活性化に貢献します。	◇「610×730運動ウルトラキャラバン」の実施など、地域放送サービスの強化に努める。 ◇「新潟ニュース610」は、ニュース企画や魅力発掘コーナーの一層の充実をはかる。 ◇20周年を迎える「金よう夜 きらっと新潟」は、地域に貢献する新たな企画・フォーマットを開発する。 ◇東京オリンピック・パラリンピックをはじめ各種スポーツの取材を通して、地域に元気を届ける。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	NHKの公共的価値を広く発信し、受信料制度への理解促進をはかります。	◇「きらっと新潟」20周年キャンペーンや4K8Kの普及促進を通して、ステーションイメージの向上をはかる。 ◇事業所対策などを一層強化し、全局をあげて営業目標の達成に取り組む。 ◇「ウルトラキャラバン」に合わせて営業対策を実施し、受信料の公平負担促進につなげる。 ◇新たな法人委託業者の開発に取り組むとともに、訪問要員の育成・啓蒙によるクレーム抑止に努める。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	働きやすい職場環境の整備を進めるとともに、コンプライアンスを徹底します。	◇スマートオフィス化などを通して、職場環境の改善に取り組む。 ◇業務改革を一層推進し、効率的・効果的な事業運営に取り組む。 ◇ペーパーレスやコピー用紙削減など環境経営を促進する。 ◇内部監査室指摘の高リスク項目の点検等を継続的に行い、業務運営の適正化をはかる。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	甲府放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災・減災報道、新型コロナウイルス関連報道等に全力を尽くし、地域が直面する課題に向き合って、情報の社会的基盤の役割を果たします。	<p>【具体的施策】Kofu3①「やまなし防災・減災」チャレンジ 地元のメディアや研究機関と連携して、山梨を襲う災害への備えを検証し、対策を探るニュース企画、番組、イベント等を重層的に展開し、地域の防災力向上に貢献する。</p> <p>【その他の施策】 ◇新型コロナウイルス感染症をめぐる報道に全力をあげ、県民の命と暮らしを守る。 ◇大規模水害に備えたロボカメを整備活用するなど、緊急報道体制を強化する。 ◇新災害情報システムの習熟を図り、災害時にはマルチ発信やライフライン放送を展開し、防災・減災に貢献する。 ◇要員情報システムの習熟を図り、緊急報道対応力を向上させて、視聴者の期待に応える。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	1年延期される東京オリンピック・パラリンピックに向けた課題を検証し、開催に向け機運を再び盛り上げるとともに、豊かで良質なコンテンツを届け、視聴者との結びつきを強化して、地域に貢献します。	<p>【具体的施策】Kofu3②「課題克服&東京2020」チャレンジ オリンピック開催地(自転車ロードレース)で、ホストタウン(フランス中心に10市町村)が多い山梨にとって今年は、新型コロナウイルス感染症による経済影響等の課題を乗り越えて、2021年につなげていく大きな挑戦の1年となる。感染症の影響等を克服しようとする動きを丹念に取材し、観光客の誘致をはじめ地域経済の課題等を探るニュースや番組を発信するとともに、東京オリンピック、パラリンピックに向けた機運を盛り上げる番組やイベントを重層的に展開する。</p> <p>【その他の施策】 ◇金曜730「ヤマナシ・クエスト」を、課題検証、魅力発見、独自の視点、の3つの柱でリニューアルし、多彩で見ごたえのある地域に貢献する番組を発信する。 ◇現役世代の満足度向上を目指して、ハートプラザの充実を図り、独自イベントを開発・展開して、地域に貢献する。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革、業務改革等を進めて、常時同時全局体制を実現し、CATV等との連携を強化して、衛星放送普及と受信料公平負担を促進します。	<p>【具体的施策】Kofu3③「BS普及&CATV連携」チャレンジ 山梨関連BS番組を「かいドキ」等でPRするとともに、CATV等と放送、イベント等の連携を強化して、地域貢献とBS普及、衛星契約割合向上を同時に実現する。</p> <p>【その他の施策】 ◇BS4K、8Kの魅力のアピールする小イベント対応の設備を整備し、県内を巡回するなどして、衛星放送普及を図る。 ◇BSの山梨関連番組を「ヤマナシ・クエスト」で放送し、BS普及と地域の魅力発信の両立を図る。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	横浜放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	災害時の情報発信をはじめ、地域の課題や魅力の発信など視聴者の期待に応える放送・サービスを、本部との密な連携等を通じて、効果的・効率的に充実させます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇大規模災害に備えた緊急報道体制整備と定期訓練の実施。 ◇災害時等の確実な電波確保に向けた設備整備と訓練実施。 ◇地域社会の課題等を深く掘り下げた放送の展開。 ◇地域の魅力を伝える番組等の4K8Kによる制作。 ◇本部との連携等を通じたコンテンツのマルチユース促進。 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	視聴者コミュニケーション活動を充実させ、地域の活性化に貢献するとともに、受信料の公平負担徹底に取り組み、支払率を向上させます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ジャズライブをはじめ、放送と連動したイベントの充実。 ◇受信料制度の理解促進に資するイベント等の企画の開発。 ◇本部との連携等による効果的・効率的な営業施策の展開。 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	局内コミュニケーションを豊かにして、より効率的で生産性の高い業務体制を構築するとともに、誰もが働きやすい高潔な職場を形作ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◇部や職種の枠を超えた人的交流の促進。 ◇業務改革についての職場ごとの検討の促進と施策の実践。 ◇職場の一人一人を等しく大切にす意識の醸成。 ◇マネジメント、コンプライアンス等の勉強会の実施。 	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 前橋放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の活性化や安全・安心に貢献するため、県民とともに考え、より多く、より分かりやすい情報発信に努め、信頼され親しまれる公共メディアとして、情報の社会的基盤の役割を果たします。	<p>◇夕方の県域放送の時間枠を拡大し、地域の多様な情報・話題を分かりやすく、より多く発信し、県内の魅力・課題を浮き彫りにします。</p> <p>◇緊急災害報道に備え、全局体制で訓練や検討を重ねるなど、万全の体制を構築し、県民の期待に応えます。</p> <p>◇金曜730の県域放送番組「ぐんまスペシャル」は、より地域に密着した番組として年間6本の制作を目指します。</p> <p>◇県域放送の安定送出に向けた設備更新・点検を強化するとともに、移動天気カメラを積極的に活用するなど、地域サービスのさらなる充実に努めます。</p> <p>◇東京オリンピック・パラリンピックに向けては、県内の動きや地元選手の活動などに注目し、ニュースや企画リポートなどの展開を図ることにより、群馬県を盛り上げていきます。</p> <p>◇今後の国政選挙に向けては、万全の準備を整えるとともに、正確かつ迅速な選挙報道に努めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	業務に携わるすべての人たちの健康と安全を守り、創造性をさらに発揮できる職場づくりを追求するとともに、公共メディアで働く者としてのコンプライアンス意識のさらなる醸成と徹底を図ります。	<p>◇業務に携わるすべての人たちの健康と安全を守るため、これまでの業務の進め方を見直すとともに、制度に則した適切な勤務管理を励行するなど、健康を最優先に考えた新しい働き方を実現します。</p> <p>◇職場のコミュニケーションの円滑化とより効率的な情報共有に資するため、職場環境を整えます。</p> <p>◇効果的な施策や取り組みを積極的に展開して、コンプライアンス意識のさらなる醸成を図ります。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	視聴者とのコミュニケーションや4K8K普及促進に積極的かつ効果的に取り組み、NHKへの理解促進と受信料の公平負担の推進を図ります。	<p>◇番組の公開収録や独自イベントを積極的に展開し、県民の満足度を向上させるとともに、インターネットなども活用してNHKへのさらなる理解促進を図ります。</p> <p>◇親切かつ丁寧、多角的な対話活動を通じて、NHKに対する視聴者からの意見・要望を的確に収集・分析し、受信料の公平負担の徹底に向けた取り組みを加速させ。</p> <p>◇4K8Kについては、県内各地でその魅力を体感してもらう場を提供するとともに、番組スポットなども積極的に活用して、さらなる普及促進を目指します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 水戸放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域のみなさまの安全・安心な暮らしを守るため、防災・減災報道、緊急報道に全力で取り組むとともに、地域の課題に向き合い、多様な地域の魅力や話題を広く発信して地域の期待に応えます。	◇日頃から防災・減災につながる情報の発信を心がけ、災害発生時には的確・迅速な緊急報道で、きめ細かい情報を伝達。 ◇新型コロナウイルスの感染拡大について、安全・安心を守り、社会への影響の軽減に貢献。 ◇地域の課題に向き合った取材・制作を強化し、「いば6」「茨城スペシャル」などでの発信で地域に貢献。 ◇延期になった東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みや地域のスポーツを支援。 ◇放送の安定送出と受信環境の整備に努め、県南・県西地域の県域テレビ放送の受信率向上を推進。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域のみなさまとの結びつきを強め、身近で親しまれる放送局を目指しながら、NHKへの理解促進と受信料の公平負担の徹底を図ります。	◇丁寧なお客様対応、効率的な営業活動、ケーブルテレビ・特約店との連携強化で、全営業目標の達成。 ◇地域のみなさまからの声や情報、映像をこれまで以上に活かした放送や放送局運営を展開。 ◇公開番組、イベント、広報活動などを通じた視聴者コミュニケーションを強化し、受信料制度への理解やNHKへの親しみを向上。 ◇会館ハートプラザの活用、放送と連動した会館公開やイベントで、地域のみなさまとの結びつきを拡大。 ◇BS4K8Kの普及促進に向け、周知広報や受信公開を強化。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革、業務改革を推し進め、活力があり創造性を発揮できる職場を築くとともに、コンプライアンスを徹底し、信頼される放送局を目指します。	◇事務部門改革で、地域サービスの充実や業務の高度化へのパワーシフトを推進。 ◇働き方改革の推進、多様な働き方の実践で、ひとりひとりが健康的で持続可能な業務遂行。 ◇グループや部をこえたコミュニケーションをより活発化させ、風通しがよく、創造性を発揮できる職場環境作り。 ◇“コンプライアンスの日常化”を推し進め、リスクマネジメントを強化。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	千葉放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の安全・安心の拠点として、あらゆる伝送路を駆使して、効果的に防災・減災・緊急報道を行います。	<p>◇新型コロナウイルス感染拡大から県民を守る情報発信に努めます。</p> <p>◇持続的に正確・迅速な発信が効果的に見える体制を本部と連携して整備します。</p> <p>◇自治体、地域メディアなど、地域のパートナーとの連携を深め、災害情報の発信を強化します。</p> <p>◇情報が必要な人が受け取りやすいよう、最適な形で届けるよう努めます。</p> <p>◇放送設備の確実な維持管理と定期的な訓練を行います。</p> <p>◇新型コロナウイルスや自然災害などの被災地を継続取材し、教訓を伝えるとともに、復興を支えます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	視聴者コミュニケーションを深め、地域の一員として地域の魅力を発信するとともに、地域課題の解決を目指し、地域と共に考え、取り組みます。	<p>◇新型コロナウイルス感染拡大が暮らしに与える影響と課題を伝え、県民が健やかな暮らしを取り戻せるよう支えます。</p> <p>◇東京オリンピック・パラリンピック開催地の一つとして、延期による課題や、様々な取り組みなど、多彩な情報を発信します。</p> <p>◇歴史、文化、自然、人々の活躍など千葉の魅力を発信します。</p> <p>◇千葉県の課題を放送やイベントを通して視聴者とともに考え、解決のヒントを探ります。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	コンプライアンスを徹底し、健康でやりがいのある職場を築き、効果的・効率的に業務を遂行します。	<p>◇受信料制度の理解促進と、公平負担の徹底に努めます。</p> <p>◇新型コロナウイルス感染拡大から職員・スタッフを守るよう努めます。また、一人一人の感染拡大防止に対する意識向上に努めます。</p> <p>◇職員の公金意識とマネジメント能力向上に努めます。</p> <p>◇情報収集と組織を越えたコミュニケーションを推進し、地域の視聴者に必要なサービスを常に考え、業務を見直し、職員・スタッフの力を最大化するよう努めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	宇都宮放送局
----	--------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県域放送のニュース枠を拡大し、地域情報の充実を図りさらに深く、わかりやすく、視聴者のみなさまに必要な情報を届けていきます。	◇県内の事故や詐欺被害など地域の安全安心の向上につながる情報を強化 ◇人口流出や社会状況による経済への影響、災害復興など地域の課題解決に向けてニュースだけでなく金曜「730」と連動し、さらに深く掘り下げた番組を届ける ◇県内の自然、観光、伝統文化、地域で活躍する人々を取り上げ地域の魅力を国内外に発信する	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	激甚化する自然災害に、きめ細かい防災・減災報道に取り組みローカルファーストで県民の命と暮らしを守ります。	◇災害時地元メディアと情報連携しきめ細かい防災・減災情報を届ける ◇防災をテーマに放送とイベントを連動することで県民の防災に対する意識を高める ◇気象予報士による防災・減災報道を強化する ◇県内すべての市町の天気予報を新設、きめ細かい気象情報を届ける	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	受信料制度で支えられている公共放送としての役割を果たすために効果的・効率的に業務をすすめ視聴者サービスの充実を図り、県民のみなさまに信頼され親しまれる放送局を目指します。	◇地域課題や地域の魅力を発信するために地域貢献イベントを展開し、ラジオ・テレビと連動して効果的な視聴者サービスに取り組む ◇月に1回金曜日にFM番組をスタート。県内で活躍する人を紹介するなど県域FMの認知度を高め災害時の地域情報波としてきめ細かな情報を届ける ◇受信料制度・公共放送の役割をご理解いただくよう丁寧で質の高い営業活動・理解促進に取り組む	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	さいたま放送局
----	---------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地震、台風、豪雨などの災害に迅速に対応するため、本部や近隣局との連携を強めるとともに、きめ細かい防災・減災情報やあらゆるメディアを駆使した災害情報の発信を行い、県民730万人の命と暮らしを守ります。	◇災害ハンドブックや災害時情報発信計画を適宜更新して初動体制を確立し、発災時の一報を迅速に放送します。 ◇「新災害情報システム」の習熟と正確なライフライン情報発信のため、関係部局・団体と連携して年数回の定期訓練を実施します。 ◇防災・減災に向けて「首都圏ネットワーク」や「おはよう日本」でのレポートを年間通じて制作するとともに、県内向けのFM番組でも定期的に防災情報を発信していきます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	東京オリンピック・パラリンピック、埼玉にゆかりのある大河ドラマ「青天を衝け」に向けて盛り上がる地域の多彩な魅力や抱える課題を掘り下げ、放送・イベント・インターネットを通して地域活性化に貢献します。	◇全職員アンケートの結果をもとに設定された5つのミッションを放送・イベント・インターネットによって展開し、より多くの視聴者に向けて、地域からの情報を届けていきます。 ◇「首都圏ネットワーク」や「おはよう日本」などで地域の話題紹介や課題を掘り下げる企画を前年度よりも増やします。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	放送と営業の連携を深め、受信料の公平負担への理解促進や新たな視聴者コミュニケーション活動の推進に全局あげて取り組み、営業目標を達成します。	◇多彩なニュースや番組、新サービス「NHKプラス」など「公共メディア」としての取り組みを様々な場面で積極的に広報し、受信料制度の理解促進に繋がります。 ◇ニュース・番組取材における情報を共有し、多様なアプローチによる営業活動を展開することで、年間業績を確保していきます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	既存業務の見直しによる業務の効率化・高度化を図り、職員一人ひとりが創造性を発揮し、仕事へのやりがいや成長実感ももてる職場環境を構築します。	◇既存業務のスクラップとペーパーレス会議システムなどの新ツールの活用により、業務の効率化・情報の共有化を進め、各人が能力発揮できる環境を整備します。 ◇在宅勤務、サテライトオフィスやweb会議などを各担当業務の中に取り入れ、多様な働き方の実現と計画的な休暇取得を進めます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓